

CEATEC JAPAN 2017、10月3日に開幕

Society 5.0、超スマート社会の実現を目指して

最先端の家電見本市から

Society 5.0 を目指す CPS/IoT の総合展へ

CEATEC JAPAN 2017(主催:一般社団法人電子情報技術産業協会など)が10月3日(火)に開幕する。会場は幕張メッセ(千葉県千葉市)で、6日(金)までの会期中4日間で、約16万人が訪れる見込みだ。

CEATEC JAPANは、2000年に「エレクトロニクスショー」と「COM JAPAN」の二つの展示会を統合して誕生した展示会で、それ以降、デジタル家電の祭典として発展してきた。CEATEC JAPAN=家電見本市のイメージが強いのはこのためだ。しかし「CEATEC」とはCombined Exhibition of Advanced Technologiesの頭文字をとったもので、本来は最先端技術の複合展示会、すなわちさまざまなテクノロジーを活用して、人々の生活をいかに豊かにするかを提示する展示会なのだ。

2016年には、CPS/IoTでつながりが深まる社会、新たにもたらされる未来をともに創り出す場を目指し、従来の「最先端IT・エレクトロニクス総合展」から「CPS/IoT Exhibition」へと大きく舵を切った。CPS/IoT社会を支えるキーテクノロジーから、それらを活用するサービスまでが一堂に会し、未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信する「CPS/IoTの総合展」に生まれ変わったCEATEC JAPAN 2016は、出展者数648社/団体(前年比117社/団体増、同22.0%増)、登録来場者数145,180人(前年比12,132人増、同9.1%増)といずれも前年を大幅に上回り、業種や産業を超えた連携による事業創出や世界各国との政策連携なども含めた「共創」を生み出す場として、大きく動き出した。そして、2017年、CPS/IoTの総合展示会に生まれ変わったCEATEC JAPANは、「日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信するSociety 5.0の展示会」として、業界の垣根を超え、政策・産業・技術を連携して、IoT・ロボット・人工知能を活用した「つながる社会、共創する未来」を描き、披露・発信する総合展示会として開催される。

注目は幅広い産業との「共創」、IoTタウン2017

「IoTタウン」は新しいCEATEC JAPANのコンセプトを体現する企画として2016年に誕生した主催者による特別企画で、IT・エレクトロニクスを利活用するユーザ企業の初出展が相次いだことで、大きな注目と反響を集めた。本年の「IoTタウン2017」は、「社会課題を解決してSociety 5.0を築く」をテーマに、さまざまな産業のフロントランナーが集結する。昨年に引き続き出展するメガバンク、玩具メーカー、大手旅行代理店に加え、今回がCEATEC JAPAN初出展となるメガバンク、ネットワークエンターテインメント・玩具メーカー、さらにはJEITAスマートホーム部会による企画

展示に大手住宅設備メーカーなどが参画し、Society 5.0の実現に向けた、新たなビジネスモデルにつながるアイデアやパートナーとの共創をIoTタウンから発信する。

また他にも、スマートファクトリーやスマート農業、スマートシティといった注目テーマをはじめ、人工知能やバイオ、セキュリティなど最先端テクノロジーに関するコンファレンスを企画しており、Society 5.0の実現に必要な「未来に向けた共創を志向する人々が繋がることのできる場」の創出を目指している。

CEATEC JAPANの詳細は公式WEBサイト(<http://www.ceatec.com/>)にて。

Society 5.0 が動き出す

今後の CEATEC JAPAN の可能性

Society 5.0の実現とは、言い換えれば「一人ひとりが輝く未来の実現」に他ならない。人間が人間らしく生きる社会を実現するためのテクノロジーの活用や共創を生み出すことを目指しているCEATEC JAPANにとって、ここ数年の変革はまだ序章に過ぎず、引き続き、あらゆる産業からの参画を誘致するとともに、今後は価値を高めるための施策にも取り組んでいく。ぜひ今年のCEATEC JAPAN 2017に会場へ来て、Society 5.0に向けた政策・産業・技術の新しい動きをぜひ感じていただきたい。

Society 5.0

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く第5段階の社会、超スマート社会として掲げられたコンセプトで、超スマート社会の実現を通じ、日本の経済発展と国内外の社会課題の解決を両立し、快適で活力に満ちた生活ができる人間中心の社会を目指した国家ビジョン。サイバー空間と現実空間との情報連携により新たな価値が生まれ、社会全体の最適化がもたらされる Society 5.0 は、「一人ひとりが活力ある人生を送れる社会」の実現を目指している。



昨年開催された、CEATEC JAPAN 2016の会場風景